

# 講 義 概 要

科目名	看護倫理	1学年	時間 単位	15時間 1単位						
担当講師	高瀬 啓一（看護師実務経験8年）									
<p>&lt;授業のねらい&gt;            専門職としての看護倫理の必要性を理解する            事例検討を通して、看護実践の上で自己の行動の倫理的判断根拠について説明できる能力を養う。検討を通して、看護実践の上で自己の行動の倫理的判断根拠について説明できる能力を養う。</p>										
<p>&lt;講義内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なぜ倫理について学ぶのか</li> <li>・倫理・倫理学とは何か（道徳、法律、倫理綱領）</li> <li>・患者の権利とインフォームドコンセント</li> <li>・守秘義務と個人情報保護</li> <li>・看護倫理とはなにか                ケアリング                責任                アドボカシー</li> <li>・学習者としての倫理的行動とは               <table style="margin-left: 40px; border: none;"> <tr> <td style="padding-right: 20px;">1. グループワーク</td> <td>①学習者として取り組む姿勢</td> </tr> <tr> <td></td> <td>②良好な人間関係のありかた</td> </tr> <tr> <td></td> <td>③看護学生としての健康管理</td> </tr> </table> </li> <li>  2. 発表</li> <li>  3. 講評</li> <li>・看護、看護師に抱く社会のイメージ</li> <li>・専門職に求められる倫理</li> <li>・専門職の倫理綱領                日本看護協会の倫理綱領</li> <li>・生命倫理の4原則</li> <li>・死の生命倫理について考える</li> <li>・先端医療と制度をめぐる生命倫理について考える</li> </ul>					1. グループワーク	①学習者として取り組む姿勢		②良好な人間関係のありかた		③看護学生としての健康管理
1. グループワーク	①学習者として取り組む姿勢									
	②良好な人間関係のありかた									
	③看護学生としての健康管理									
<p>&lt;教科書・参考書&gt;            系統看護学講座 別巻 看護倫理 医学書院            峰村淳子・石塚睦子 よくわかる看護職の倫理綱領 照林社</p>										
<p>&lt;評価方法&gt;            筆記試験 看護学概論15時間のうち1時間を試験に充てる</p>										
<p>&lt;配点&gt;            100点</p>										